

とき

vol.3

旬しゅんの人

「土谷棚田の火祭り」が 部門賞受賞

— 第10回ふるさとイベント大賞 —

第10回ふるさとイベント大賞(財団法人 地域活性化センター主催)で、「土谷棚田の火祭り」が産業・観光部門賞を受賞し、3月7日の表彰式(東京都)で表彰を受けました。

地域の特性を生かして行われたイベントを表彰するもので、全国から126団体の応募があり、大賞1団体、優秀賞2団体、部門賞に5団体が選ばれました。土谷棚田の火祭りは、土谷棚田保存会が中心となつて、毎年5月に実施されています。全国棚田百選の土谷棚田のあぜ道に、約2000本のたいまつをともし、棚田の美しさをアピール。昨年の火祭りには、県内外から約2000人が訪れました。

永田恵会長(写真前列右)は、「風光明媚な土谷棚田を活用し、地域活性化につながるイベントとして3年前から火祭りを始めました。今回の受賞は大変光栄

なことで、火祭り

にかかわるみんなの大きな励みになったと思います。

今年5月6日に火祭りを開催するほか、4月29日には田植え体験を予定しています。火祭りの美しく幻想的な光景、田植え体験や棚田散策を通じて、多くの人に棚田の良さを理解してもらい、地域の活性化につなげていきたいです」と話していました。



土谷棚田保存会の皆さん

第4回土谷棚田の火祭り

- 日時 5月6日(土) 午後7時点火
 - 会場 土谷棚田周辺(駐車場は福島港周辺)
 - 主催・問合せ先 土谷棚田保存会
☎ 0955-47-3111 (福島支所地域振興課内)
- ※会場周辺は交通規制が行われるため駐車できません。駐車場と会場を結ぶシャトルバスを運行しますのでご利用ください。



昨年の土谷棚田の火祭りの様子

交通安全功劳県知事表彰受賞

交通安全の保持や啓発活動に功績があった人に対し贈られる交通安全功劳の表彰式（長崎県交通安全推進県民協議会主催）が2月17日、長崎市で行われ、交通指導員の大串徳安さん（福島・伊万里釜）と田口好光さん（志佐・西山）が、交通安全功劳県知事表彰を受賞しました。

大串さんは、昭和53年から現在まで交通指導員として、毎週月曜日の街頭指導や各種イベントへの自主的な協力を行われています。

田口さんは、平成10年から8年間松浦地区交通安全協会の会長として、交通事故防止や安全運転啓発に努められました。



大串徳安さん



田口好光さん

交通安全図画・作文で優秀賞

交通安全に関する図画・作文が県内の小中高生から募集（長崎県交通安全推進県民協議会主催）され、審査の結果、作文の部で御厨中2年の園邊優君（御厨・大崎下）が、図画の部で志佐中2年の金替瑞紀さん（志佐・里田原2）がそれぞれ県教育長賞（優秀賞）を受賞し、2月17日、長崎市で表彰式が行われました。

長崎県内から図画683点、作文63作品が応募された中で、学年別にそれぞれ知事賞（最優秀賞）と教育長賞（優秀賞）それぞれ1点と優秀作品が選ばれました。

また、志佐中2年の前田愛理さん（志佐・西山）が図画の部で入選作品に選ばれました。



園邊優君



金替瑞紀さん

鷹島俳句会が合同句集「島水仙」を発売

鷹島俳句会がこのほど合同句集「島水仙」を発売しました。

同会は、昭和42年に発足し、一時活動が中断していたものの現在まで活動を続けています。現在は5人の会員で、月1回俳句の学習活動を行っています。

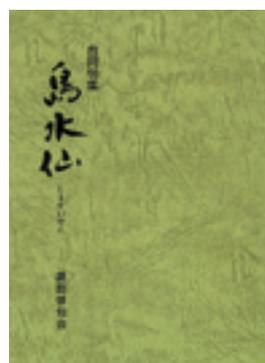
「島水仙」はA5版、100頁。会員や元会員、指導者の坂口寛さんなど12人の作品、440句が掲載されています。

会長の小田富美子さん（写真前列右）は、「市町村合併を一つの節目として、これまでの歩みを振り返る意味でこの合同句集を発売しました。坂口さんにも企画など協力をしていただき、『島水仙』が無事完成しとてもうれしく思います。

鷹島は、風景もすばらしく、人情も厚い島。年齢を重ねるごとにその思いが強くなり、それらを表現した俳句の句集を作ること、あらためて鷹島のよさを実感しています。これからは鷹島のよさを俳句で表現していきたいと思います。

また、俳句に興味のある方は参加してみませんか。もっと多くの方が俳句に親しめればと思います」

「島水仙」は、市立図書館でご覧になれます。



鷹島俳句会の皆さん